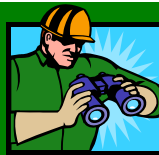


◇ 水辺で野鳥を観察しよう



土木事務所周辺は、季節ごとに
色々な野鳥が利用しています

川沿いの歩道は見晴しがよく、歩いていると多くの生き物を見ることができます。
少し意識をして観察すると、川沿いを利用する多くの野鳥を観察することができます。

■ 始めは水辺の野鳥から

サギ、カモの仲間、カワウなどの大きい鳥は、肉眼でも見つけやすく一羽でも目立ちます。



冬の時期には、コガモが集団で集まっていることがあります。真ん中に地味なメスがいて、色鮮やかなオスがメスの周りを泳ぎ、求愛ダンスでアピールします。



カワウが集団で魚を捕まえる漁のおこぼれを狙ってコサギが集まっています。秋の時期に下流から上流に向かって、このカワウ、コサギの群れが移動していくのを見かけることがあります。

■ 慣れてきたら、川沿いの草原の小鳥を探そう！



草原や川原を多くの小鳥が利用しています。鳴き声や草木の不自然な揺れ、見えている中で動いたものがあるかなど注目すると少しずつ見つけられるようになってきます。

ヨシ原の中にいたシジュウカラとエナガの群れ。冬のヨシ原には、他にもスズメ、カワラヒワ、ホオジロなどが見られます。



☆ 双眼鏡を使ってみよう

双眼鏡を使うと、遠くのを大きく見ることができ、小鳥の観察や鳥の色々な様子を観察できます。

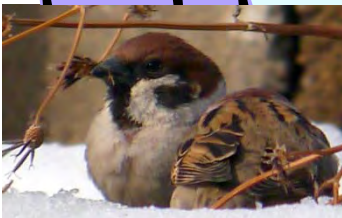
【双眼鏡選びのポイント】

・倍率は8倍程度のもの

※20倍や100倍などの高倍率のものは扱いが難しくオススメできません。

始めは、大きな鳥や動かない橋や電柱など構造物を見て練習してみましょう。

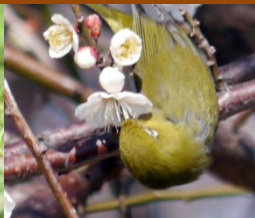
■ 鳥のしぐさを観察してみよう



草の実を食べる



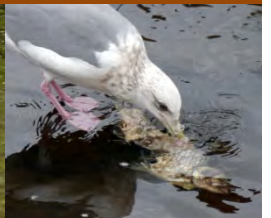
虫を食べる



花の蜜を吸う



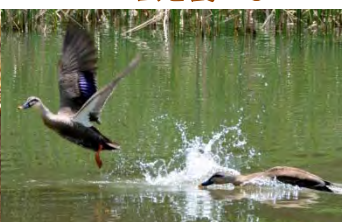
泳いでいる魚を捕る



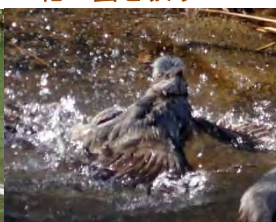
死んだ魚を食べる



頭をかく



追い払う



水浴び



羽を乾かす



潜る

◇ 鶴見川上流で見られる春・夏の野鳥



ここでは、鶴見川上流の青葉土木事務所周辺で春から夏に観察できた野鳥を紹介します。
見られる野鳥は、秋・冬に比べずっと少ないですが、夏鳥や子育て中の野鳥を観察できます。

■ この時期の特徴的な野鳥



■ ツバメ 成鳥は顔が赤く、尾羽がのびます。
巣はお椀型でひなが外から見えます。

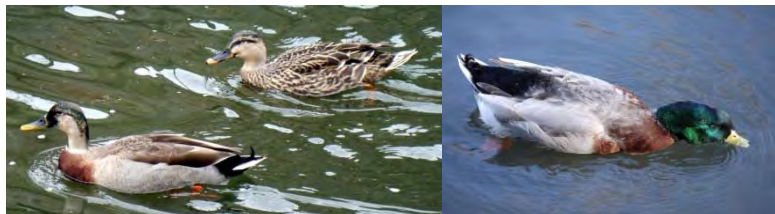


■ イワツバメ 背中部分の部分が白い。尾羽は短い。
巣の入り口は狭く、ひなは見えません。



オオヨシキリ ウグイス

鳴き声の特徴的な鳥。
オオヨシキリは、ヨシやオギの上で目立って、ウグイスはヤブの中で隠れて鳴きます。



雑種のカモ(左) カルガモ(中央) アヒル(右)

カルガモは一年中見られますが、他のカモは、子育てのため、北へ移動します。この時期にいるカルガモ以外のカモは、カルガモと他のカモの雑種だったり、見た目はマガモに見えますが、一回り大きい家畜化されたアヒルだったりします。

幼鳥を見つけよう 春から夏は子育てシーズン

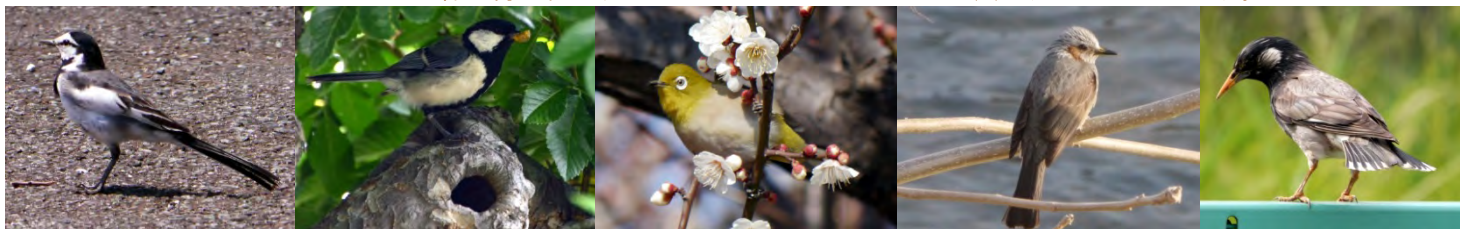
幼鳥は成鳥とは少し違って見えます。色が薄かったり、クチバシに黄色が残っていたり、ツバメでは、長く伸びた尾羽がまだなかったりします。



スズメ シジュウカラ ツバメ カルガモ

他にも見られる野鳥紹介

スズメやハト、カラスなど一般的な野鳥以外にもいろいろな野鳥に出会えます。
春は梅や桜の花などにメジロやスズメなどが蜜を吸いやってきます。



ハクセキレイ シジュウカラ メジロ ヒヨドリ ムクドリ



カワウ コサギ アオサギ イソシギ カワセミ